

2月9日（水）
総務文教常任委員会

調査件名
●広野駅周辺開発について

総務文教
広 野駅東側開発
駅舎改修は構想中

第1期整備では、1区画を令和3年12月から令和4年3月末まで、将来的に町に東町産業団地での営業を希望している企業が一時的に車両を置く場所として貸与しているとのことでした。
空いている3区画は誘致活動を進めているとのことでした。
第二期整備事業では、未来のかけ橋のエレベーター設置工事がコロナ禍の影響がほとんどなく予定通りに行われており、駅跨線橋へのエレベーター設置工事も新しい工法で経費も抑えられる見込みとのことでした。
駅舎の改修については、まだ確定したことはありませんが、住民が使いやすいよう、待合室へのエアコンの設置や販売コーナーを設ける構想を立てているとのことでした。
国及び県とも相談が必要で、こちらも確定ではありませんが、令和5年度に駅舎の建築工事、6年度に駅西側のロータリーの基本設計・実施設計、令和7年度に駅西側の工事を進めているとのことでした。

委員会 報告

を報告します

委員会

各常任委員会の活動状況

2月10日（木）
産業厚生常任委員会

調査件名
●農林業の振興について
●町の道路行政について
●ため池の放射性物質の確認について

産業厚生
農 林業の振興
加工施設の有効活用は

自家消費野菜の検査基準値100Bq/kgを超える放射性物質が出た場合の対応については、基本的には自分でも処分をさせていただくことになりませんが、町も県と情報を共有しながら対応していくとのことでした。
景観作物補助金などについては、必要に応じて事業の見直しを検討し、予算を効率的に農家支援に回していきたいと考えているとのことでした。
農産物加工施設の運営については、「大豆組合」などを組織し、特産品の開発など有効的に活用することを考えているとのことでした。
ふくしま森林再生事業の計画については、令和4年度からの4地区については、上浅見川、折木の第4地区、第5地区、第6地区、第12地区となり、優先

順位を付け令和7年までの事業として実施計画を立てています。
令和8年度以降も森林再生事業の補助金が継続すれば他の地区において事業を実施していくとの説明がありました。
玉ねぎの集団産地化については、富岡町で郡内を対象とした玉ねぎを集荷する施設の建設を令和6年の完成を目指し進められているとのことでした。
外国への福島県産農産物の輸出についてはPRの方法などを県と協議したいと考えているとのことでした。
令和3年度のイノシシ捕獲実績については、捕獲する側の人数に變化はないものの、令和4年1月末現在で30頭と昨年度より大幅に低い数字になっているとのことでした。
圃場整備後の電気柵の貸与については、

圃場整備によって区画が大きくなり地番も変わった方も再度貸与できるとのこと、周知を図っていくとのことでした。
ふるさと納税の実績については、令和2年は、3404件、約4230万円だったのに対し、令和3年度はコロナ禍の状況もあり、875件、約1179万円となっているとのことでした。
ふるさと納税の実績を上げるため、工夫を凝らしPRしていくとのことでした。
特別栽培米コシヒカリの在庫については、JAが買い上げることになっているとのことでした。

産業厚生
町 の道路行政
亀ヶ崎歩道は地権者と交渉中

亀ヶ崎歩道整備の地権者との交渉状況については、地権者26人中、賛成者22人、反対者2人であり、残り2人の方についても事業に協力いただけるのか話を聞いた上で計画に反映させていきたいと考えているとのことでした。
町道折返線の今後の進捗予定については、住宅や地形的なものがあり、すぐに改良等ができる状況ではないため、引き続き改良を続けることは難しいと考えているとのことでした。
県道上戸渡広野線（249号線）の整備については、県に対し道路改良等の要望を継続していきます。

産業厚生
た め池の放射性物質
国の省令に基づき実施

ため池の放射性物質の調査は、農家の安全を確保するため、国の省令に基づき実施しています。
消火活動に伴う西の沢ため池の利用については、県の条例等を調査し報告することでした。



未来のかけ橋から見た駅東側